

平 2 8 基 地 対 策 第 3 1 号
平 2 8 基 地 第 1 2 3 号
平成 2 9 年 (2017 年) 1 月 3 1 日

中国四国防衛局長 様

山口県知事 村 岡 嗣 政

岩 国 市 長 福 田 良 彦

空母艦載機の岩国基地への移駐について（照会）

空母艦載機の岩国基地への移駐については、先般、1月20日に本県や岩国市等に対し、説明がありましたが、平成18年に示された再編案から移駐する機数・機種が変更しているなど、状況に変化が生じています。

このため、騒音や安全性等、基地周辺住民の生活環境への影響を再整理する必要がありますので、下記のとおり、疑問点や追加説明を求めたい点があります。

つきましては、文書により御回答いただきますようお願いいたします。

記

1 航空機騒音予測コンターについて

- (1) 移駐予定の空母艦載機の諸元を示すこと。
- (2) 今回説明のあった空母艦載機の移駐に係る全体計画によると、平成18年に説明があったものから、機種、機数が変わっている。平成18年に作成した艦載機移駐後の航空機騒音予測コンターから今回提示の航空機騒音予測コンターに変更された理由を①航空機騒音のデータ、②飛行経路データ、③1日の標準的な飛行回数などを踏まえ示すこと。
- (3) 平成18年に作成した艦載機移駐後の航空機騒音予測コンターと比べて、今回提示の航空機騒音予測コンターの70Wの区域（特に周防大島町）が増加しているのはなぜか。
- (4) 平成18年に作成した艦載機移駐後の航空機騒音予測コンターよれば、第一種区域の面積が約1,600haであるところ、第一種区域の基準となる75W以上の区域は、約500haに縮小するが、今回提示の航空機騒音予測コンターにおいては、第一種区域の基準となる75W以上の区域はどのようになるのか。
- (5) 国、県及び岩国市の各騒音測定地点における移駐後の推計のW値を示すこと。
- (6) 岩国基地において、空母着艦資格取得訓練（CQ）は行われるのか。行われるのであれば、今回提示した騒音予測コンターに反映されているのか。

2 空母艦載機離発着訓練について

- (1) 岩国基地において空母艦載機離発着訓練、とりわけ夜間に激しい騒音をもたらす訓練（いわゆるNLP）を実施しないことを明確にすること。
- (2) 岩国基地において、低騒音機（E-2D及びC-2）による空母艦載機離発着訓練、とりわけ夜間に行われる訓練（いわゆるNLP）は実施されるのか。
- (3) 空母艦載機離発着訓練の恒常的な訓練施設として、馬毛島を検討対象とされているが、現在の進捗状況はどうか。

3 騒音対策について

- (1) 移駐予定の空母艦載機の騒音対策として、国としてどのようなことを行い、また、米側はどのようなことを行うのか。
- (2) 空母艦載機の移駐に伴う騒音軽減のため、他基地への訓練移転等の影響緩和措置が実施される計画はあるのか。

4 訓練空域について

空母艦載機の訓練空域として「岩国臨時留保空域」が設定されたが、当該訓練空域までの飛行ルートやそこでの主な訓練内容を示すこと。

5 航空機事故の発生状況について

移駐予定の空母艦載機の事故の発生状況はどうか。

6 航空機事故の防止対策について

移駐予定の空母艦載機の安全性の確保に向けて、国としてどのようなことを行い、また、米側はどのようなことを行うのか。

7 大気への影響について

排気による大気の影響はどうか。

8 水質への影響について

移駐に伴い新たに整備された施設の増加や約3,800人の増加による水質への影響はどうか。

9 事件・事故の発生状況について

米軍人・軍属及び家族が過去5年間に起こした事件、交通事故の件数及び身柄引き渡しの状況はどうか。（全国、厚木基地、岩国基地）

10 事件・事故の防止対策について

艦載機移駐を踏まえて事件発生防止のため、国としてどのようなことを行い、また、米側はどのようなことを行うのか。

11 その他の事項について

- (1) 移駐人員の居住方法・区域とそれぞれの人数を示すこと。
- (2) 岩国基地内及び愛宕山地区における施設整備の進捗状況と完成予定時期を示すこと。
- (3) 第一種区域の見直しは、いつ頃を予定しているのか。
- (4) 今後、岩国基地が空母などの米国軍艦の母港及び寄港地になることはないか。
- (5) 空母艦載機部隊の厚木基地滞在日数を示すこと。